



NPO PTPL “ともいき” 便り No.140

平成 30 年（2018 年）2 月 4 日発行

■立春（りっしゅん） 平成 30 年 2 月 4 日から 2 月 18 日までの節気

余寒お見舞い申し上げます。2 月 4 日からは「立春」の節気。2 月 3 日までは寒中見舞い、余寒見舞いは立春から 2 月末までに用います。（※寒冷地では 3 月中も用いるところがあります。）

立春は「暦の上では一年の初め、春の始めとされ、暖かくなり始める時季」です。今年は例年にないほど、厳しい寒さが続きますが、着実に春に向かっていくことが立春という言葉で伺えます。

韓国の平昌で冬季オリンピック（2 月 9 日から 2 月 25 日）・パラリンピック（3 月 9 日～3 月 18 日）が開催されます。北朝鮮問題が懸念される中、平和の祭典であるオリンピックが政治的に利用されず、参加選手たちが日ごろの鍛錬と努力の成果を発揮できる素晴らしい大会になることを願うばかりです。当然ながら、日本選手の活躍を期待している国民のひとりです。

1 月 22 日（月）は東京でも積雪 20 センチを超える大雪となりました。雪といえば、2 月 5 日から 2 月 12 日まで札幌の大通りなどを会場に「第 69 回さっぽろ雪まつり」が開催されます。札幌市民のみならず多くの見物客が待ちわび、そして賑わうことでしょう。私は一度も足を運んだことがないので臨場感と雰囲気がよくわかりませんが、報道やネット上の情報を見ると、やはり一度は日本最大の雪の祭典を見てみたいと思います。

雪といえば、立春の節気期間中は、東北各地で「みちのく五大雪まつり」が開催されます。

- ・2 月 9 日から 2 月 12 日、青森県弘前で「第 42 回弘前城雪燈籠まつり」
- ・2 月 9 日から 2 月 11 日、秋田県男鹿市で「第 55 回なまはげ柴灯まつり」
- ・2 月 14 日から 2 月 18 日、岩手県雫石市で「第 51 回いわて雪まつり」
- ・2 月 15 日から 2 月 16 日、山形県横手市で「横手かまくら」

・2月17日から2月20日、青森県八戸市で「八戸えんぶり」

またまた、私はどのまつりにも足を運んだことはありませんが、東北各県ならではの風土や伝統がまつりに表現され、長く厳しい雪に閉ざされた東北地方の人々にとっての楽しみであり、また観光的にも多くの人々に支持され、受け継がれているのでしょう。

このような行事はいつまでも絶やさず伝え続けていきたい日本の雪にまつわる文化といえるでしょう。

さて、話題を変えて、皆さんは2月15日が「春一番名づけの日」というのをご存知でしょうか。

春一番は、気象庁では「立春から春分までの間に、広い範囲で初めて吹く、暖かく（やや）強い南よりの風」としています。

春一番の語源は、「石川県能登地方や三重県志摩地方から西の各地で昔から使われていたということなどさまざまですが、その中で、長崎県壱岐郷ノ浦町で、安政6年（1859年）旧暦2月13日（新暦3月17日）に長崎県五島沖に出漁した漁師53人が、春の強い突風にあい全員遭難、死亡しました。このときから郷ノ浦の元居地区の漁師のあいだでは、春の初めに強い南風が吹くことが知られておいて、南寄りの強い風のことを「春一」または「春一番」と呼ぶようになったそうです。気象庁では1985年から春一番という言葉が採用され、発表しています。

佐藤 誠（NPO PLANT A TREE PLANT LOVE事務局）

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」

●2017年の外国人の訪日客数は？

2017年の外国人の訪日客数は、過去最多の2,869万1千人を記録し、アジアを中心に訪日客は急増しています。

また、急増する旅行客の消費が押し上げ、日本を訪れた外国人旅行者の消費額が推計で前年比17,8%増の4兆4,161億円となり過去最高を更新したと観光庁が発表しました。

政府は東京オリンピック・パラリンピックが開かれる2020年に訪日客数4,000

万人消費額 8 兆円とする目標を掲げていますが・・・。

その訪日数を受け入れられるだけの設備、施設などの充実、そして特にあらゆる面でのサービスが周到になされなければなりません。

来ていただいた外国人訪日客に日本でのよい思い出ができ、国へ帰って PR していただくことが重要です。それが訪日客の増加につながります。

そして、外国人訪日客とのコミュニケーションにおいて、日本の伝統であり、日本の文化と精神の真髄である「ジャパネスク」を理解、認識してもらうことが大切です。

日本が立派な総合力のある環境立国になるにはまだまだ、日本人ひとりひとりがしっかりと自覚し、実行しなければならないことが多いようです。

●脱炭素社会に向けて。

北米、ヨーロッパの寒波、オーストラリアの熱波などなど、去年から今年にかけて異常気象、そして自然災害が世界各地で頻繁に起こっています。

1 月 22 日(月)から 23 日(火)にかけて 4 年ぶりに関東地方は大雪、都心でも 20 センチを超える積雪、今日から日本海側では北極の寒波が南下し、一週間ぐらいの長い寒波襲来が予報されています。

2020 年からのパリ協定実施など世界は脱炭素社会への移行の動きが顕著です。日本も脱炭素への挑戦なしに科学技術立国としての持続の可能性はないでしょう。

今すぐ、脱炭素社会という訳にはいきませんが、長期の高い目標を自らに課し、着実に技術革新を心掛けるべきだと考えます。

そして将来、なるべく早い時期に世界は脱炭素社会をめざすべきです。

日本 2018 ジャパネスク

あなたと日本の話をしてみたい。

勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局便り

- 今年の1月は各地で例年になく厳しい寒さが襲いました。1月25日北海道喜茂別町では、氷点下31.3度を記録しました。同日、東京都心でも氷点下4度を記録、これは1970年以来、実に48年ぶりのことだそうです。暦の上では、春を迎えるとはいえ、この厳しい寒さはいつまで続くのでしょうか？ 春が待ち遠しいです。

- 是非、NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

- 会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話：03-6432-5911 FAX：03-6432-5912

Email：info@ptpl.or.jp